

自己点検・自己評価報告書

令和2年3月31日現在

大阪リハビリテーション専門学校

令和2年3月31日作成

目 次

基準1 教育理念・目的・育成人材像等

- 1-1 理念・目的・育成人材像は定められているか 2
- 1-2 学校の特徴はなにか 4
- 1-3 学校の将来構想を抱いているか 5

基準2 学校運営

- 2-4 運営方針は定められているか 7
- 2-5 事業計画は定められているか 8
- 2-6 運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか 9
- 2-7 人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか 10
- 2-8 意思決定システムは確立されているか 12
- 2-9 情報システム化等による業務の効率化が図られているか 13

基準3 教育活動

- 3-10 各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか 15
- 3-11 各学科の教育目標、育成人材像を構成する知識、技術、人間性等は、業界の人材ニーズレベルに照らして、また学科の教育期間を勘案して、到達することが可能なレベルとして、明確に定められているか 16
- 3-12 カリキュラムは体系的に編成されているか 17
- 3-13 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか 19
- 3-14 授業評価の実施・評価体制はあるか 20
- 3-15 育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか 21
- 3-16 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか 24
- 3-17 資格取得の指導体制はあるか 25
- 3-18 生涯学習に対して積極的に取り組んでいるか 26
- 3-19 附帯教育事業に対する取り組みの組織・体制は明確になっているか 27

基準4 教育成果

- 4-20 学生の就職に関する目標を達成したか 29
- 4-21 資格取得に関する目標を達成したか 30

4-22	退学率の低減に関する目標を達成したか	31
4-23	卒業生・在校生は社会で活躍し、評価を得ているか	32
基準 5 学生支援		
5-24	就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか	34
5-25	学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか	35
5-26	学生の経済的側面に対する支援が全体的に整備され、有効に機能しているか	36
5-27	学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能しているか	38
5-28	課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか	39
5-29	学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	40
5-30	保護者と適切に連携しているか	41
5-31	卒業生への支援体制はあるか	42
基準 6 教育環境		
6-32	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	44
6-33	学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	45
6-34	防災に対する体制は整備されているか	46
基準 7 学生の募集と受け入れ		
7-35	学生募集活動は、適正に行われているか	49
7-36	就職実績、資格取得実績、卒業生の活躍の教育成果は、学生募集に貢献したか	50
7-37	入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	51
7-38	学納金は妥当なものとなっているか	52
基準 8 財務		
8-39	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	54
8-40	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	55
8-41	財務について会計監査が適正におこなわれているか	56
8-42	財務情報公開の体制整備はできているか	57
基準 9 法令等の遵守		
9-43	法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	59
9-44	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	60

基準 1 教育理念・目的・育成人材像等

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>疾患や障害をもった対象者様の人生に関わるという大変難しいテーマについて、その問題を真剣に考えることのできる真摯な態度の育成を目指し教育されている。</p> <p>専門職としての自覚を持ち、社会における各療法士の役割を認識するとともに、関連職種との連携を尊重し、協調して業務を遂行できる高度な知識と技術、そして豊かな人間性の修得を目指す。また、職務に対する姿勢や倫理など各療法士としての適性を養うことを目的とし、それに沿った内容で教育されている。</p>	<ul style="list-style-type: none">・ 各療法士の臨床の本質や重要性を正しく理解する。・ 各療法士の仕事の領域全体にわたって、現場の体験を通して学びとる。・ 専門領域の学識・技術の向上を目指し、その内容を深める。・ 対象者（児）の要求、興味・関心、福祉・人権等に対する鋭敏な感受性を養い、豊かな人間尊重の精神を培う。・ 各療法士としての自己の使命を確認する。・ 社会人として、臨床家としての道徳心、倫理観を培う。

1-1 理念・目的・育成人材像は定められているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
1-1-1 学校が教育を行う理念・目的・育成人材像などが、明確に定められているか	5	学校が教育を行う理念・目的・育成人材像などが、明確に定められている。 3つのポリシーを策定し、求める人材像、卒業認定要件、カリキュラム内容を明確化した。	入学案内・学生便覧に明記されている。 ホームページにも掲載されている。 入試入学説明会、オープンキャンパスを年 12 回開催し、受験希望者に対し、学校が教育を行う理念・目的・育成人材像など説明している。	時代のニーズを先取りし、敏感に変化させる体制が必要となる。	入学案内 学生便覧 ホームページ 入試入学説明会資料
1-1-2 理念・目的・育成人材像を実現するための具体的な計画・方法を持っているか	5	理念・目的・育成人材像を実現するための具体的な計画・方法を持っている。 中期展望と5か年目標と計画を策定し、毎年年度末に見直しを進めている。	1学年から3学年まで臨床実習を多く取り入れ、即戦力となる人材育成の計画を実施している。 客観的臨床能力試験(OSCE)を導入し、知識・資質・技術のチェックを実施している。 中期展望と5か年目標と計画を策定し、理事会・評議員会で報告している。	カリキュラムの見直し、検討を実施する。	カリキュラム 客観的臨床能力試験(OSCE)各種資料 理事会・評議員会議事録 理事会・評議委員会提出資料
1-1-3 理念・目的は、時代の変化に対応し、その内容を適宜見直されているか	5	理念・目的は、時代の変化に対応し、その内容を適宜見直されている。 指定養成規則の変更に則したカリキュラム改定を実施	目的については、各学科単位で臨床からのニーズを調査し、学内教育に反映させている。	カリキュラムの見直し、検討を実施する。	カリキュラム

			自己点検評価で、教育内容を見直し、検討を加えている。学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会でその内容を議題として、外部の有識者から広く意見を求めている。		学校関係者評価委員会議事録 教育課程編成委員会議事録
1-1-4 理念・目的・育成人材像等は、教職員に周知され、また学外にも広く公表されているか	5	理念・目的・育成人材像等は、教職員に周知され、また、学外にも広く公表されている。	入学案内・学生便覧に明記されている。また、学外に対しては、ホームページにより、公開している。入試入学説明会・オープンキャンパス・夜間個別面談・夜間授業見学会で、受験希望者に対して、説明している。 パンフレットの更新を実施	学生便覧の見直しやホームページの更新を随時実施する。 パンフレットの更新を内容の継続を検討し実施する。	入学案内 学生便覧 ホームページ 入試入学説明会資料 夜間個別面談記録 夜間授業見学会資料

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学校が教育を行う理念・目的・育成人材像などが、明確に定められている。目的については、各学科単位で、臨床からのニーズを調査し、学内教育に反映させている。	

1-2 学校の特色はなにか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
1-2-5 学校の比類ない特色として挙げられるものがあるか	5	学内教育と学外教育を組み合わせた教育カリキュラムを実施している。	法定単位を超える臨床実習を実施している。 理学療法学科では、医療施設外実習を設定し、介護保険分野の臨床実習を取り入れている。作業療法学科では、地域作業療法実習を同様に取り入れている。	理学療法実習1・2・3をカリキュラムに取り入れ、3年次の臨床実習に備えている。 作業療法学科では、作業療法実習1・2・3・4をカリキュラムに取り入れ、3年次の臨床実習に備えている。	カリキュラム 臨床実習要綱

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学内教育と学外教育を組み合わせた教育カリキュラムを実施している。 臨床ゼミナールを導入し、個別指導を実施している。	

1-3 学校の将来構想を抱いているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
1-3-6 学校の将来構想を描き、3～5年程度先を見据えた中期的構想を抱いているか	5	医療保険分野のみならず、介護保険分野でも望まれるまた、活躍できる人材の養成を目標にしている。 中期展望と5か年目標と計画を策定し、毎年年度末に見直しを進めている。 AO入試・高校推薦入試を導入し、両学科の定員充足を目標に準備・計画を実施した。	介護保険分野の授業時間を増加させている。 医療施設外実習を設定し、介護保険分野の臨床実習を取り入れている。 中期展望と5か年目標と計画を策定し、理事会・評議員会で報告している。 入試入学説明会・オープンキャンパスの参加者の増加が認められる。	運営会議や学科会議で将来構想の検討を実施する。 教育課程編成委員会で外部の有識者に参加いただき外部の意見を反映させている。 学校関係者評価委員会で外部の有識者に参加いただき外部の意見を反映させている。 AO入試・高校推薦入試を導入し、ホームページやオープンキャンパスで更に外部に周知していく。	カリキュラム 教育課程編成委員会議事録 学校関係者評価委員会議事録 臨床実習要綱 理事会・評議員会議事録 理事会・評議委員会提出資料 募集要項

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
医療保険分野のみならず、介護保険分野でも望まれるまた、活躍できる人材の養成を目標にしている。入学希望者の増加に関しては、優秀な入学生確保を目的に、職業訓練給付金の認可を受け、HPや入試入学説明会で広報した。理学療法学科では、職業実践専門課程の認可申請を実施し、認定を受けた。最近では、起業を目指すセラピストの増加が認められることから、介護保険分野での起業を視野に入れた授業内容も組み入れてきている。	理学療法管理学、地域理学療法実践論、地域作業療法学などの講義に介護保険分野での起業を視野に入れた授業内容も組み入れた。

基準 2 学校運営

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学校運営は、建学の精神に由来する教育理念や校是を最上位の判断基準とし、運営会議を筆頭に、学科会議の議決の基に運営されている。また、経営に関連する事項については、学園理事会での議決に拠っている。</p> <p>運営の具体的な目標や方針は、学科会議や各委員会で審議された事項を基に運営会議で諮り、事業計画として計画・策定され、年次途中での実施状況確認を経て年度末に総括され翌年の計画に反映させている。さらに、より長期的な視点からの将来構想を構築するため、中期計画（5ヶ年計画）を策定している。学校運営の基盤については、学則を最上位に各種規定、及び各種内規により定められている。</p>	

2-4 運営方針は定められているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-4-1 学校の目的、目標に基づき、学校運営方針は明確に定められているか	5	学校の管理運営に当たっての目的、目標に基づく運営方針は、毎年、事業計画の中心内容として定めている。 中期展望と5か年目標と計画を策定し、毎年年度末に見直しを進めている。	運営方針を盛り込んだ事業計画は毎年3月下旬の理事会、評議員会にて承認を得ている。 中期展望と5か年目標と計画を策定し、理事会・評議員会で報告している。		福田学園事業計画書(OCR) 福田学園事業報告書(OCR) 理事会・評議員会議事録 理事会・評議委員会提出資料
2-4-2 学校運営方針はきちんと教職員に明示され、伝わっているか	5	事業計画の内容は各所属セクション単位の会議、MTGにて明示し伝えている。 学園中期計画及び期間中に於ける取組みについての資料を全教員に配信し、運営方針を周知徹底した。	事業計画の内容について、役職者には運営会議にて明示し、その他教職員については、学科会議・事務局MTG等にて明示し伝えている。	全教職員に対して、一度に説明報告する機会は今のところ設けていない。	運営会議議事録 令和元年度理事会資料
2-4-3 学校運営方針を基に、各種諸規定が整備されているか	5	運営方針に基づき、各種規程及び各種内規を整備している。	各種規程及び各種内規については、事業計画の策定と併せて常に見直しを行っている。		福田学園組織規程 OCR処務規程書 各種規程書 各種内規書

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
目的や目標に基づいた運営方針は、学科会議や各委員会での審議を基に運営会議で諮られ、その審議事項の内容が事業計画として中核的な役割を担っている。また、それらを集約し長期的な全体構想を加味した中期計画(5ヶ年計画)を策定している。	

2-5 事業計画は定められているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-5-4 学校の目的、目標を達成するための事業計画が定められているか	5	2-4-1 アと同じ また、その結果を事業報告としてまとめている。 併せて、中期計画（5ヶ年計画）を策定している。	事業計画は毎年3月下旬、また、事業報告は5月下旬の理事会、評議員会にて承認を得ている。		福田学園事業計画書（OCR） 福田学園事業報告書（OCR） 中期計画（5ヶ年計画書）
2-5-5 学校は事業計画に沿って運営されているか	5	事業計画に基づき実施状況の確認と計画変更等があれば運営会議で修正等の確認を行っている。入学者数の充足、進級率、卒業率の改善、国試合格100%を目標にそれに沿った事業計画を定め、実施している。	運営会議は月1回のペースで開催され、状況の確認をしている。		福田学園事業報告書（OCR） 福田学園組織規程書（OCR） 中期計画（5ヶ年計画書） 運営会議議事録

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
事業計画は毎年、学科会議での審議を基に運営会議で諮られ、その審議事項の内容が中核的なものとなって策定している。また、毎月進行状況が運営会議で確認され、修正や調整をしながら業務が進行している。年度末には部署毎で総括され、次年度の計画策定に反映している。尚、長期的な構想を捉え、事業計画を基に全学的な中期計画（5ヶ年計画）を策定している。	

2-6 運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-6-6 運営組織図はあるか	5	新年度当初に学園組織図を学内掲示板（サイボウズ）にて公表し、全教職員に告知している。	3月下旬の理事会、評議員会にて、新年度の学園組織編成の承認を得ている。		福田学園組織図
2-6-7 運営組織や意思決定機能は、学校の目的、目標を達成するための効率的なものになっているか	5	運営組織や意思決定機能は、学校の目的、目標を達成するための効率的なものになっている。	理事会、評議員会は、私立学校法に定められた役割を果たすべく機能している。また、目標達成のための運営組織が整備されており、運営のための会議は効果的に開催されている。		福田学園理事会議事録（OCR） 福田学園評議員会議事録（OCR） 運営会議議事録
2-6-8 組織の構成員それぞれの職務分掌と責任が明確になっているか	5	組織の構成員それぞれの職務分掌と責任が明確になっている。	学園組織規程、OCR 処務規程により、組織内の各職位別、各職務別に、その役割と責任を明確に示している。		福田学園組織規程書 OCR 処務規程書

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学校の最上位意思決定機関として運営会議が設置されており、そこでは学科会議の各種答申・審議事項が一元的に取り扱われている。</p> <p>学科会議が実質的な審議の場として、学校運営全般について基本的な方針や施策を検討、策定している。学科会議・事務MTGは、主に各学科・各部署の業務上の連絡や報告の場として機能している。</p>	

2-7 人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-7-9 学校運営に必要な人材の確保と育成が行われているか	4	毎年、事業計画に基づき、学校運営に必要な人材の確保と育成を概ね行っている。	毎年、その年度の事業計画に基づき、要員計画、新規採用計画を策定している。理学療法学科においては、指定養成規則の必要要件を超える教員数を配置している。	階層別等具体的な研修計画を策定する必要がある。	福田学園事業計画書(OCR) 福田学園事業報告書(OCR)
2-7-10 人事考課制度は整備されているか	3	正式な制度としての人事考課規程は整備されていない。	人事考課規程は設けていないが、実質的には、理事長により本人の業績による評価が1年毎になされ期待成果給が決定されており、また業務委託契約者においては、契約更新時に上長等の評価により更新の可否が決定されている。	今後、公平な人事考課の在り方について検討する必要があるが、それに先立ち、遂行された業務の評価や各教職員の貢献度、能力等を評価することで組織力を高めることができるよう、まずは人事評価の体系整備から検討していく必要がある。	福田学園職員給与規程(抜粋) 業務委託契約者契約更新関係書式一式
2-7-11 昇進・昇格制度は整備されているか	4	正式な規程としての昇進昇格規程は整備されていない。	正式な規程としての昇進昇格規程は整備されていないが、実際に昇進昇格制度は運用されている。	正式な規程として整備する必要がある。	人事異動通知書 辞令
2-7-12 賃金制度は整備されているか	5	賃金制度は整備されている。	給与規程、退職金規程、一時金規程に基づき運用されている。		給与規程書 退職金規程書 一時金規程書 モデル試算表

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-7-13 採用制度は整備されているか	3	正式な採用基準は整備されていない。	毎年、その年度の事業計画に基づき、要員計画、新規採用計画を策定している。	正式な基準を整備する必要がある。	福田学園事業計画書(OCR) 福田学園事業報告書(OCR)
2-7-14 教職員の増減に関する情報を明確に把握しているか	4	教職員の増減に関する情報を把握している。	毎年の事業計画、事業報告で学園全体の教員、職員数を掲載している。また、教職員採用年度や年齢等の構成一覧を作成している。		福田学園事業計画書(OCR) 福田学園事業報告書(OCR) 教職員構成一覧表

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
賃金制度については、退職金も含め精緻な制度が確立している。人事・昇進関係・採用については、明確な制度はないものの、各部署の人員計画や人事考課を反映した人事が施行されている。今後の課題としては、教職員の資質・能力向上の観点から、職場内での異動を円滑に行うための制度設計が必要である。	

2-8 意思決定システムは確立されているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-8-15 意思決定システムは確立されているか	5	意思決定システムは確立されている。	学園としての意思決定システムは、組織規程により明確に規定するとともに、学園組織図により、はっきりと明示している。		福田学園組織規程書 福田学園組織図
2-8-16 意思決定プロセスのポイントとなる仕組み(会議等)が制度化されているか	5	意思決定プロセスのポイントとなる仕組み(会議等)は制度化されている。 毎月1回運営会議が開催されている。 毎週1回学科会議が開催されている。	段階別に意思決定プロセスのポイントとなる会議が制度化されている。		福田学園理事会議事録 福田学園評議員会議事録 運営会議議事録 学科会議議事録
2-8-17 意思決定の階層・権限等は明確か	4	意思決定の階層・権限等は明確である。	各意思決定組織の階層・権限等を組織規程、処務規程等で定めることにより、適切かつ円滑にシステムを機能させている。		福田学園組織規程書 OCR処務規程書

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）

2-9 情報システム化等による業務の効率化が図られているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-9-18 業務効率化を図る情報システム化がなされているか	5	業務効率化を図る情報システム化（cam-j 等）がなされている。	入学から卒業まで、更には卒業以降の期間について、学生一人一人の情報を管理できるシステムを構築し運用している。また、学生募集については、専用システムのセールスフォースを活用している。		システム概要図 ネットワーク図 各種出力帳票

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学籍管理や成績管理のシステムは既に導入しており、セキュリティー面も強化している事から、安全で効率的な業務遂行に寄与していると言える。	

基準 3 教育活動

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>常に医療保険・介護保険制度の変革の情報を踏まえ、人材ニーズの把握を行い、また、求人者の情報から現在の業界のニーズを把握してきている。</p> <p>このニーズに対応することを目標に、また、各学生の履修状況から到達可能な目標を設定した教育活動を実施している。</p>	<p>指定養成規則等によりカリキュラム内容は厳密に規定されており、自由にできる内容は少ないが、少しでも外部のニーズに対して応えるような活動を行っていきたい。</p>

3-10 各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか
--

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-10-1 各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか	5	<p>国の行政や介護保険制度、各事業者の動向を把握し、カリキュラムに組み込むように努めている。両学科とも、職業実践専門課程の認可を受け、企業等との連携を密にし、企業から求められる人材像を明確にしている。</p> <p>企業等のニーズをいち早くキャッチする目的で、学校法人と二医療法人と契約を継続して締結している。</p>	<p>適宜情報集を行い、具体的に科目内容に反映させている。</p> <p>教育課程編成会議を開催し、外部有識者からの意見を広く受けている。</p>		<p>教育課程編成会議議事録</p> <p>法人契約締結書</p>

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>常に国や職能団体の情報には目を向けており、人材ニーズの把握が可能となっている。</p> <p>理学療法学科では、教育課程編成会議、学校関係者評価委員会を開催し、企業等の意見が常に反映されるように体制を整備している。</p> <p>作業療法学科では、教育課程編成会議を開催し、企業等の意見を教育内容に反映させている。</p>	<p>教育課程編成会議には、学術団体、複数の医療機関から委員を選出し、幅広い意見をいただいている。</p>

3-11 各学科の教育目標、育成人材像を構成する知識、技術、人間性等は、業界の人材ニーズレベルに照らして、また学科の教育期間を勘案して、到達することが可能なレベルとして、明確に定められているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-11-2 各学科の教育目標、育成人材像を構成する知識、技術、人間性等は、業界の人材ニーズレベルに照らして、また学科の教育期間を勘案して、到達することが可能なレベルとして、明確に定められているか	5	ほぼ到達可能なレベルを定めている	入学者に対してほぼ9割の学生が卒業している 両学科とも国家試験合格率は、全国平均を大きく上回っている。理学療法学科では、2年連続国試合格100%を達成している。	学習の停滞が認められた場合に、個別指導で対応している	カリキュラム 国家試験合格率資料

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
各学生の履修状況から、ほぼ到達可能な目標設定による教育活動を実施しているものと判断している。またその目標は、求人者よりの情報から現在の業界のニーズに則したものと考えている。	

3-12 カリキュラムは体系的に編成されているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-12-3 学科のカリキュラムは、目標達成に向け十分な内容でかつ体系的に編成されているか	4	カリキュラム構成はほぼ適切に設計されている。 2020年指定養成規則変更に沿った内容に2019年改訂を行った。2019年改訂を行った授業に対して、内容の検討を実施した。	国家試験の出題基準及び臨床的なニーズを配慮したカリキュラムであるため。	カリキュラム設計の意図について、学生の理解を促進する努力がさらに必要である。	カリキュラム 新カリキュラム
3-12-4 カリキュラムの内容について、業界など外部者の意見を反映しているか	4	反映できるように意識している。 年2回開催実施している教育課程編成委員会で外部の有識者の意見を聞き、カリキュラムに反映させている。	各科目の担当講師及び実習指導者より、各講義時や指導者会議にて意見をいただいている。 教育課程編成委員会を年2回開催し、外部の意見を取り入れている。	意見集約から具現化するまでの体制においてさらなる充実が必要である。	教育課程編成委員会議事録
3-12-5 カリキュラムを編成する体制は明確になっているか	4	ほぼ明確である。 座学と臨床実習のコンビネーションを重要視し、知識・技術・資質の確認を客観的臨床能力試験で実施している。	学科会議活動 教育課程編成委員会を年2回開催し、外部の意見を取り入れている。	各科目担当者、学科教員のさらなる連携、統括の強化を要する。	教育課程編成委員会議事録 客観的臨床能力試験(OSCE)各種資料

3-12-6 カリキュラムを定期的に見直しているか	4	見直している。	<p>学科会議 各科目担当者が、授業評価アンケートを下に次年度に向けて報告書を作成し、改善点や総括を実施して、カリキュラム内容を定期的に見直している。</p> <p>2020年度の指定養成規則改訂を見越して、2019年度にカリキュラム改訂を実施し、内容の検討を継続している。</p>	各科目担当者、学科教員のさらなる連携、統括の強化を要する。	<p>授業評価アンケート集計票および報告書 運営会議議事録 学科会議議事録</p>
---------------------------	---	---------	---	-------------------------------	---

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>理想的な専門職像を掲げ、具体的な教育目標達成に向けたカリキュラム編成としている。また、時代の流れに沿った適宜の改善を実施している。</p>	

3-13 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-13-7 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか	4	ほぼされている。	学科会議において検討されている。 学校関係者評価委員会と教育課程編成委員会で外部の有識者から意見を頂いている。 リハビリテーション教育評価機構の第三者評価を受審している。		カリキュラム 学校関係者評価委員会 議事録 教育課程編成委員会議 事録 リハビリテーション教 育評価機構審査報告書
3-13-8 各科目の指導内容、方法等を示したシラバスが作成されているか	4	作成されている。	学生配布のシラバスがある。		シラバス集
3-13-9 各科目の一コマの授業について、その授業シラバスが作成されているか	4	作成されている。 専任教員の主要科目は、毎回講義シラバスを作成し、重要項目について、学生にアンケート調査を実施している。	各科目の資料による。	さらなる内容の充実	シラバス集 講義シラバス

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教育目標に沿ったカリキュラムデザインに努めている。また主要科目を中心に、各科目、各授業における目標設定も明確にしている。	

3-14 授業評価の実施・評価体制はあるか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-14-10 学生による授業評価を実施しているか	4	全科目終了後授業評価アンケートを実施している。	実施実績から。	各科目についてその結果の情報開示は十分といえない	授業評価アンケート集計票および報告書
3-14-11 授業内容の設計や教授法等の現状について、その適否につき学科や学校として把握・評価する体制があるか	4	把握に努めている。	学科会議での学生報告、試験成績、教員間の授業交流の実施。	各情報の統合と対策への反映を確実にする	授業評価アンケート集計票および報告書

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教育活動全体として学生からどのような評価を得ているかはほぼ把握している状況である。科目毎の学生評価についても、重要な情報源としている。	

3-15 育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-15-12 学科の育成目標に向け授業を行うことができる要件(専門性・人間性・教授力・必要資格等)を備えた教員を確保しているか	4	ほぼ確保できている。 理学療法学科 5名 修士 作業療法学科 4名 修士	各クラスの学習状況や各科目の履修状況から。		教育研究活動一覧
3-15-13 教員の専門性レベルは、業界レベルに十分対応しているか	4	ほぼ対応できている。 理学療法学科 5名 修士 作業療法学科 4名 修士 臨床研修を週1日実施している。	臨床経験を維持するための研修実績から。		教育研究活動一覧 業務報告計画書
3-15-14 教員の専門性を適宜把握し、評価しているか	4	ほぼ把握している。 各専門分野に科目担当が配分されている。	臨床経験の内容、研修・研修活動の実績から。		教育研究活動一覧
3-15-15 教員の専門性を向上させる研修を行っているか	4	教員研修や職能団体による学術活動への参加を促している。学術大会・研修会にも参加している。	研修実績から。		教育研究活動一覧

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない 3-15 (2/3)

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-15-16 教員の教授力 (インストラクション スキル)を適宜把握し、 評価しているか	4	授業交流などにより把握している。 複数で担当する臨床ゼミなどの科目を設定し、各教員の教授力を確認している。	授業交流の実績 複数の教員が参加して授業を行うことで、フィードバック、修正を実施している。		
3-15-17 教員の教授力 (インストラクション スキル)を向上させる 研修を行っているか	5	教員研修会や講習会などへの参加を促している。	参加実績 PT：第 32 回教育研究大会教育研修会 3 名参加 臨床実習指導者講習会受講 7 名 【受講】 平成 31 年 3 月 2 日、3 月 3 日：第 2 回臨床実習指導者講習会（中央講習会）修了 越智久雄 平成 31 年 3 月 30 日、3 月 31 日：第 5 回臨床実習指導者講習会（中央講習会）修了 笠原弘樹 令和元年 6 月 22 日、23 日：第 10 回臨床実習指導者講習会（中央講習会）修了 中平剛志、大川真司、松井奈穂子	研修会や学会・講習会への参加を積極的に促していく。	出張報告書

			<p>研修名：「これからの理学療法士教育」期間：令和元年 5 月 11 日（土）（連携企業等：大阪府理学療法士会生涯学習センター）対象：太田幸志</p> <p>内容：学生教育から新人教育、新生涯学習システムについて</p> <p>研修名「第 32 回教育研究大会・教員研修会」期間：令和元年 8 月 29 日（木）～ 8 月 30 日（金）（連携企業等：一般社団法人全国リハビリテーション学校協会）対象：理学療法学科専任教員 2 名（笠原弘樹・大川真司）</p> <p>内容：養成施設の教員を主とする全国規模の研究大会・研修会であり、特別講演、シンポジウム、ワークショップ、口演発表、ポスター発表等が行われる。</p>		
			<p>研修名「セラピスト臨床教育フォーラム」期間：令和元年 11 月 9 日（土）</p> <p>（連携企業等：医療法人協和会）対象：理学療法学科専任教員 1 名（笠原弘樹）</p>		

			<p>内容：指定規則改定における今後のセラピスト育成に関する臨床教育の在り方について検討</p> <p>研修名「第6回日本サルコペニア・フレイル学会大会」期間：令和元年11月9日（土）～10日（日）（連携企業等：日本サルコペニア・フレイル学会）対象：理学療法学科専任教員1名（西村朋浩）内容：百寿のためのサルコペニア、フレイル、ロコモ対策</p> <p>研修名「日本理学療法士教員協議会2019」期間：令和元年11月10日（日）（連携企業等：一般社団法人全国大学理学療法教育学会 日本理学療法士協会）対象：理学療法学科専任教員3名（中平剛志・笠原弘樹・大川真司）内容：シームレスな卒前卒後教育の構築－診療参加型実習の充実－</p> <p>OT:2019年度実績</p> <p>第32回教育研究大会教育研修会2名参加</p> <p>認知神経リハビリテーションベーシックコース2名</p> <p>第53回日本作業療法士学会1名参加</p> <p>第34回大阪府作業療法学会大会1名</p>		
--	--	--	--	--	--

			認定作業療法士選択研修 老年期障害 2名 認定作業療法士選択研修 身体障害 1名 認定作業療法士共通研修 管理運営 1名 脳外臨床研究会 1名 2019年度発達障害専門講座2「複雑性トラウマとその治療」 1名 第19回日本音楽療法学会 学術大会 1名 第122回日本小児精神神経学会 1名		
3-15-18 教員間(非常勤講師も含めて)で適切に協業しているか	4	学科会議などで学生状況を把握し、対応方法などについて検討、実施している。 各学年の指導に担任・副担任制を取り入れ、協業による指導体制を取っている。	議事録		学科会議議事録
3-15-19 非常勤講師間で適切に協業しているか	4	講義内容など情報共有をしている。 担任が非常勤講師と定期的に面談し、授業内容や小テストの成績を把握している。	シラバスなど		シラバス カリキュラム 小テスト成績表

3-15-20 非常勤講師の採用基準は明確か	4	学科にて検討し運営会議へ提案、決定している。 年度末に授業評価を実施し、学生の理解度などを評価している。	議事録		授業評価
------------------------	---	---	-----	--	------

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
主にクラス及び各学生個人の学生生活や成績の報告などから、教育活動のフィードバックに努めている。その内容から、各教員の教育活動の適正化、教員採用時の用件設定に反映させている。	

3-16 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-16-21 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4	学則により定めている。	学則 シラバスに、成績評定の基準を明記している。		学則
3-16-22 他の高等教育機関との間の単位互換に関する明確な基準があるか	4	シラバスなどによる判断に委ねている。 20単位を認めている。	単位認定申請書		学則

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
成績評価や単位認定の基準は明記されている。学内は学年制ではあるが単位制も取り入れている。	

3-17 資格取得の指導体制はあるか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-17-23 目標とする資格はカリキュラムの上で明確に定められているか	5	定めている。 理学療法士国家資格 100% 作業療法士国家資格 93%	学則		学則
3-17-24 目標とする資格の取得をサポートできる教育内容になっているか	5	ほぼなっている 国家試験合格率は全国平均を大きく上回っている。 国試対策ゼミナールをカリキュラムに編成している。	カリキュラム 国家試験合格率		カリキュラム 国家試験合格率一覧表

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
資格取得のための指導体制、カリキュラムとなっている。	

3-18 生涯学習に対して積極的に取り組んでいるか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-18-25 生涯学習に対して積極的に取り組んでいるか	5	理学療法学科では卒業生就職先に対して理学療法士として必要な技術のbrush upを目指した講習会を行ってきている。 作業療法学科では、前身である卒業生、実習地の作業療法士を対象に講習会を開催している。 校友会活動を積極的に支援している。	開催実績 2019年度実績 正風病院：5/21、6/25、7/16、8/20、9/17、10/23、11/13、12/11、1/21、2/18 株式会社ビーナス：5/15、6/19、7/17、8/21、9/18、10/16、11/21、12/19、1/15、2/19 2019年度実績 作業療法学科勉強会：4/12、5/10、6/14、7/12、8/9、9/13、10/25、11/15、11/30、12/20、12/23		研修会資料
3-18-26 聴講生制度はあるか	NA	国家試験受験資格認定校のため、授業が非常に厳密に規定されており、また、施設の余裕もないため聴講生制度は設けていない。			
3-18-27 生涯学習に関連する講座の開設・受講の状況・推移を正確に把握しているか	4	把握している。	校友会事業実績総会 2019年5月12日 2019年度PT研修会 2019年9月22日、10月20日、2020年1月19日 OT研修会 6/9、7/7、11/9・10		校友会議事録

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
生涯学習という点から卒業後も卒業生に対して技術の向上を図るための講習会を実施し、レベルアップに貢献している。	

3-19 附帯教育事業に対する取り組みの組織・体制は明確になっているか
--

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-19-28 附帯教育事業に対する取り組みの組織・体制は明確になっているか	NA	人員及び収容施設の関係で、現在は実施していない。			
3-19-29 附帯教育事業に関連する講座の開設・受講の状況・推移を正確に把握しているか	NA	行っていない。			

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
人員及び収容施設の関係で、現在は実施していない。	

基準 4 教育成果

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>現状では就職率 100%となっているが、近年、入学者のレベルが急激に変化してきており、今後、退学率の上昇及び理学療法士国家試験合格率の下落が懸念される。卒業生が将来、社会で活躍できることを視野に求人動向の分析及び対策を行い、実社会のニーズに呼応した人材育成のための教育を図るべく、入試の選抜方法、学内教育の拡充を図っていく必要がある。</p>	<p>第 18 期の卒業生を輩出した理学療法学科においても、2 年連続で国試合格率 100%、国試合格者の就職率 100%を達成した。</p>

4-20 学生の就職に関する目標を達成したか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
4-20-1 学生の就職に関する目標を達成したか	5	達成している。	就職率は100%		就職先一覧
4-20-2 就職成果とその推移に関する情報を明確に把握しているか	4	ほぼ把握している。 2年継続して就職先アンケートを実施した。 卒業生の現状調査アンケートを実施した。	学科による毎年のデータ集約、就職先一覧表	傾向などの分析をさらに充実させる余地がある	就職先アンケート調査結果 卒業生アンケート調査結果

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
現状では就職率は100%であるが、その求人動向の分析とその対策の検討を継続的に行う必要がある。	

4-21 資格取得に関する目標を達成したか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
4-21-3 資格取得に関する目標を達成したか	5	ほぼ達成している。	国家試験の合否結果	各学生の傾向分析などによる学習方法の適正化	厚生労働省資料 学校別合格者状況
4-21-4 資格取得者数とその推移に関する情報を明確に把握しているか	5	把握している。	合否結果の記録		厚生労働省資料 学校別合格者状況

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
例年、全国平均以上の合格率（2019年度は理学療法学科 100%、作業療法学科 93%）を保っているが、継続して 90%以上の合格率が確保できるよう、さらなる向上を促す。	

4-22 退学率の低減に関する目標を達成したか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
4-22-5 退学率の低減に関する目標を達成したか	4	退学率はほぼ横ばいである 理学療法学科：8.1% 作業療法学科：7.1%	退学者実績より	退学理由の分析と早期退学傾向の把握による対応	運営会議資料
4-22-6 入退学者数とその推移に関する情報を明確に把握しているか	5	把握している 卒業率 理学療法学科：90% 作業療法学科：77.4%	事務記録		運営会議資料

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
入学者のレベルも急激に変化しており、退学率の低減が確実に効を奏しているとはいいがたい。選抜方法と学内教育内容の拡充を継続していく。	

4-23 卒業生・在校生は社会で活躍し、評価を得ているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
4-23-7 卒業生は社会で活躍し、評価を得ているか	4	ほぼ評価を得ている。 臨床・教育・研究分野で活躍している。 就職先アンケートを2年連続実施した。 卒業生の現状調査アンケートを実施した。	各施設等の状況より	就職先アンケート、卒業生の現状調査アンケートを分析し、学内教育に反映させ、より社会から求められる人材を育成する。	就職先アンケート調査結果 卒業生アンケート調査結果
4-23-8 卒業生の例として特筆すべきものを記述できるか	4	人間性については、ほぼ評価されている。 臨床・教育・研究分野で活躍している。	各施設等の状況より 学会抄録集 大学院進学、学術大会発表などの活躍が見られる。		
4-23-9 在学生や卒業生の作品や発表が、外部のコンテスト等で評価されたか	NA		第26回大阪府理学療法学術集会にて、卒業生の発表が優秀賞を受賞した。		
4-23-10 在学生や卒業生の作品や発表が、外部のコンテスト等で評価された例として特筆すべきものを記述できるか	NA				

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
社会での活躍状況については、すべてを把握できている状況にはないが、把握できる機会を持つように努め、学内教育に反映させる必要があると考えている。	

基準5 学生支援

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学生支援については、就職支援、学生生活支援、経済的支援、健康管理、課外活動支援、等々多岐に渡るが、概ねすべてに渡って支援体制は整っている。</p> <p>就職支援に関しては、その前提となる国家試験合格率に大きく左右されるが、幸い高い合格率を保っていることから自ずと就職率も高い水準を保っている。国家試験合格への支援がそのまま就職支援ともいえる。</p> <p>学生相談、健康管理についての支援体制は整えているがあまり利用する学生はいないように思われる。ただし、その性格上、利用実態は克明には把握していない。</p> <p>課外活動については、夜間開講ということもあって殆ど行われていない。学校が主体的に誘導している球技大会等が唯一の活動と言える。</p> <p>経済的支援については本校独自の制度がなく、まだまだ不十分と言える。</p>	

5-24 就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-24-1 学生の就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか	4	卒業年次担任及び学科長による指導。 100%希望する就職先に就職している。 Moodleを活用した、新しいシステムを導入した。	就職先一覧表		運営会議資料
5-24-2 就職に関する説明会を実施しているか	4	就職活動のガイダンスなど実施。 説明会開催を希望する施設に対して個別対応で実施している。	ガイダンス開催	全体説明会の開催を検討する。	就職ガイダンス資料
5-24-3 就職に関する学生個別相談を実施しているか	4	個別相談は実施している	就職活動開始前、試験前、試験後に実施している。		
5-24-4 就職の具体的活動(履歴書の書き方など)に関する指導を実施しているか	4	就職活動のガイダンスと個別指導など実施	ガイダンス開催 個別指導による指導		就職ガイダンス資料

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
現在まで就職率は100%であるが、就業満足度を向上するためにはカリキュラムとの連携をさらに高める必要がある。このことは内定率の維持にも必要である。	

5-25 学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか
--

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-25-5 学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか	4	担任制度を設け授業等に関する相談や、カウンセラーによる心理面の相談を常時受付けている。	担任や進路担当者との相談はもとより、学生相談室の利用率が高いとの報告を受けている事から十分に機能していると判断できる。	特になし	掲示用ポスター。
5-25-6 学生相談室を開設しているか	4	学生相談室を開設している。	毎月、学内掲示にて学生相談室の開室日を公開している。担任の面談により把握される学生の相談内容の中で、必要性のあるものは、学生相談室の利用を推奨し、連携している。	特になし	掲示用ポスター。
5-25-7 学生からの相談に応じる専用カウンセラーがいるか	4	カウンセラーは外部（2名）に委託している。	掲示用ポスターに開室日ごとの担当者名を明示している。	特になし	掲示用ポスター。
5-25-8 留学生に対する学生相談体制は整備され、有効に機能しているか	4	留学生はいない。		特になし	

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
----------------	---------------------------

学生相談の体制は十分に整備されており大きな問題はない。

5-26 (1/1)

5-26 学生の経済的側面に対する支援が全体的に整備され、有効に機能しているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-26-9 学生の経済的側面に対する支援が全体的に整備され、有効に機能しているか	3	日本学生支援機構の奨学金、及び日本政策金融公庫による国の教育ローン等の紹介を行っている。 また、家計の急変により学費納入が困難になった学生に対する減免制度や標準在学年数を超過して在籍する学生に対する減免制度を設けている。	日本学生支援機構の奨学金と国の教育ローンについては学生募集要項等で案内しており、学生それぞれが状況に応じて利用をしている。	日本学生支援機構の奨学金、及び日本政策金融公庫の国の教育ローンに於いては、決済がされない場合がある。 家計の急変を理由とした減免制度については、その状況を客観的に判断する指標が得にくい。	学生募集要項
5-26-10 奨学金制度が整備され、有効に機能しているか	4	独自の奨学金制度は展開していない。 成績優秀者に対して特待生制度を導入している。			学生募集要項
5-26-11 学費の分納制度等、学生を経済的に支援する制度が整備され、有効に機能しているか	4	学費の延納制度や分納制度を設けており、各期の一括納入が厳しい学生にとっては有効である。	年間、一定数の延納者や分納者がいる。	分納や延納の期限を厳守できない学生がいる。 ⇒再延納、再分納を認めている。	延納申請用紙 分納申請用紙

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）	
<p>経済的理由により進学できない方が増えており、入学後も保護者（又は学生自身）の収入減により継続的な就学が困難な学生が増えてきている。その対応策として、学園自体の奨学金制度(学費納入が著しく困難になった学生を援助し、就学を継続させることを目的とした授業料減免制度)の制定や外部機構、企業への紹介で現時点に於ける最大限の支援を行っている。</p>		

5-27 学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能しているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-27-12 定期的に健康診断を行うなど学生の健康面への支援体制はあるか	4	年度当初、全学生に対して健康診断を実施している。 ワクチン接種の状況を調査した。	提携病院より医師・看護師はもとより、検査技師を派遣いただいている。(レントゲン検査車両) 入学時に実施する健康調査票を、2年次・3年次の4月に再調査し、更新情報を把握している。		健康診断データ ワクチン接種調査票
5-27-13 学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能しているか	4	保健室を設置し、看護師を常駐させている。 看護師とクラス担任が連携し、学生の健康管理の為に情報交換を実施している。 実習先での感染予防を目的に感染症の抗体価を検査し、予防接種を実施している。(麻疹・風疹・水痘・耳下腺炎・肝炎)	看護師の業務として、体調不良者等への対応、をおこなっている。	看護師の常駐時間が妥当か否か検討の余地がある。	
5-27-14 学生からの健康相談等に専門に応じる医師・看護師等がいるか	4	健康相談等に応じられる看護師はいる。 週に5日(11時から19時)看護師が常駐している。	5-27-13 イと同じ	5-27-13 イと同じ	

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括

特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)

休息を取れる保健管理室を設置し、週に5日（11時から19時）看護師が常駐している。	
---	--

5-28 課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-28-15 スポーツ等のクラブ活動、ボランティア活動その他、課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか	3	学生自治会から球技大会に補助している。 卒業時の催事に対して補助している。 クラス運営に関して補助している。 ボランティアの募集に関しては積極的に情報公開し、参加を推進している。小児施設や障害者施設の行事に参加している。	学生自治会規約 学科会議議事録		

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学校側に支援の用意はあるものの、Ⅱ部ということから学生自身の時間的余裕がないため活動は低調である。 現在年1回開催されている球技大会のような学校全体の行事を企画して支援する必要がある。	

5-29 学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-29-16 遠隔地出身者のための学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	2	入学時及び新学期に本学園提携業者から下宿先を斡旋している。	本校加盟のキャリア教育共済協同組合の Student Partner System(入学生・在校生に対する入居等のサービス)を利用することができる。	次年度より学生募集要項、学生便覧に掲載し、周知する予定である。	学生募集要項 学生便覧

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)

5-30 保護者と適切に連携しているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-30-17 保護者と適切に連携しているか	4	欠席が続く学生に対しては担任から連絡し、場合によっては保護者を交えた面談を行うこともある。2科目以上欠点をとる成績不振の学生成績不振の学生においても常に連絡をとり、学生の学習状況の報告を実施している。 継続して保護者面談会を実施している。	面談記録 学科会議議事録	理学療法学科では33名の学生に対して、保護者面談を実施した。電話連絡を24名実施した。 作業療法学科では2名の学生に対して、保護者面談を実施した。	学生台帳登録票

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）

5-31 卒業生への支援体制はあるか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-31-18 同窓会が組織化され、活発な活動をしているか	4	1期生を輩出した年度に校友会（同窓会）が組織され、それ以降、年1回の総会及び年数回の分科会が行われている。	総会資料		総会資料
5-31-19 卒業生をフォローアップする体制が整備され、有効に機能しているか	4	校友会事務局ではHPやメールを利用して、イベント案内等の情報発信及び住所変更等、校友会会員のためのフォローアップ体制を整備している。	準会員である在校生にも案内し、学習機会を設けている。		

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
万全とは言えないが、校友会に対してできる範囲で学校も便宜を図っている。今後、更に利便性を高める方策を取って行きたい。	

基準 6 教育環境

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>機械・器具は指定養成規則に定められた種類と数を揃えており、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているが、設置以来 17 年を経過し、経年劣化や故障が見られる。今後は、メンテナンスに留意しながら買い替えや数の補充を図る必要がある。</p> <p>設備については、各クラスの専用教室が確保され実習室等も整備されているが、昼間においては大学との共用となる部分もあることから両者間の有効的な利用方法を確立する必要がある。</p>	

6-32 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
6-32-1 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3	授業運営に必要な専門的機械・器具は整備されている。情報機器については一定期間ごとの更新が必要である。	指定養成規則の基準を満たしている。		理学療法士作業療法士養成学校指定規則
6-32-2 施設・設備のメンテナンス体制が整備され、有効に機能しているか	3	情報機器については学園内に専属職員を置きメンテナンス体制を整えている。	施設・設備に不具合が生じた場合は、迅速な対応が求められるため、専属職員の判断の下に対処している。	専属職員の一層の資質の向上が求められる。	
6-32-3 施設・設備の更新に関する計画を立て、計画通りに更新しているか	3	国庫補助金の助成を受けるための条件に合った更新計画を立てている。 教室の映像機器など、年次計画を立てて整備している。		一時に使用不可能となることも予想されることから、正常な使用状況にある段階から整備計画を立てる必要がある。	平成 30 年度中期計画及び期間中の取組

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
授業運営上の必要性は充足しているが、今後は学生の自由な学習にも対応できるだけの整備が必要となろう。	

6-33 学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか
--

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
6-33-4 学外実習、インターンシップ、海外研修等について外部の関係機関と連携し、十分な教育体制を整備しているか	5	整備している	臨床実習要綱など		臨床実習関連書類 臨床実習要綱
6-33-5 学外実習、インターンシップ、海外研修について、その実績を把握し教育効果を確認しているか	5	確認している	実習成績	実習での学習困難者に対する対策	臨床実習評価表

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学外実習に関してはほぼ体制は整っているが、一部に学習が困難になる学生がおり、それらに対する対さらなる対策が必要である	

6-34 防災に対する体制は整備されているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
6-34-6 防災に対する体制は整備され、有効に機能しているか	5	防火管理者を配置し、各施設管理者及び営繕（2名）への指導を行っている。	防火管理者による定期的な研修を実施している。	防災マニュアルを早急に制定し、それに基づく、訓練を実施したい。	
6-34-7 災害を起こす可能性のある設備・機器等の情報は十分に伝えられているか	5	防火管理者からの研修を通して、施設管理者及び営繕への情報伝達を周知徹底している。	日頃より、災害の起因となりうる設備・機器等の巡回を行っている。（巡回日報）	特になし。	巡回日報
6-34-8 実習時等の事故防止の体制は十分か	5	災害の起因となる設備・機器に関しては、授業担当教員の管理監督のもとに行っている。	過去に於いて災害等の事故は起こっていない。	特になし。	
6-34-9 万が一の災害が起きた場合に備えた保険等の処置は十分なものとなっているか	4	店舗総合保険に入っている。	建物及び実習機材、資財迄の補償がされている。学生についての補償は、学生傷害保険に加入をさせている。	特になし。	

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
6-34-10 防災訓練を実施しているか	1	年に一度、教職員全員による防災訓練の実施を予定している。	防災訓練では消火器の取扱いと緊急時における避難経路の周知徹底を行う予定である。	授業等の関係により学生を含めた防災訓練は実施できていないが、今後は、夜間部においても有効な指導・訓練の在り方について消防署に指導を仰ぎ、実施できる方法を検討していく。	

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
防火管理者、及び施設管理者、営繕(2名)の配置と、研修並びに定期的な巡回により日々の防火体制を整えている。また、防火訓練を教職員全員に実施予定していることで、消火器の取扱いと避難経路の周知徹底を行う予定である。	

基準 7 学生の募集と受け入れ

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>今年で創立 17 年を迎え、多数の卒業生の活躍もあり各業界からは実績のある学校として信頼されている。その実績等で、卒業生や業界から志望者に紹介頂く事も多く、本校を安心して進学出来る学校として評価されていて、学生募集に大きく良い影響を与えている。尚、学校の内容をより理解して貰う機会として、「入試・入学説明会」の開催、現役の理学療法士・作業療法士で本校卒業生が毎日夕方実施している、「個別相談」にも対応している。</p>	

7-35 学生募集活動は、適正に行われているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
7-35-1 学生募集活動は、適正に行われているか	5	大阪府専修学校各種学校連合会と高等学校進路指導協議会との協定の中で遵守事項に沿って学生募集活動を適切に行っている。	遵守事項の中で特に重要で有る願書受付等の時期について、細心の注意を払っている。		募集要項
7-35-2 学校案内等は、志望者・保護者等の立場に立った分かり易いものとなっているか	4	学校案内では各学科紹介等に於いて事実表現のみしている。HPでも学科毎に掲載し色々な活動を紹介。学生募集要項に於いても、特に学費に関する記載は徴収金額と差異なく明記している。	入学後に学生より苦情等を受けていない。		学校案内 募集要項 学校 HP
7-35-3 志望者等の問い合わせ・相談に対応する体制があるか	4	専門の担当者（広報スタッフ）が窓口となり、相談状況に応じて学科担当教員も相談に乗れる体制を取っている。 また、卒業生による夜間相談を受け付けている。	専門の担当者（広報スタッフ）が常時在籍している。	問合せの時間によっては、学科担当者が対応できない場合がある。	福田学園組織図
7-35-4 募集定員を満たす募集活動となっているか	4	学科により定員を満たしていない。	夜間3年制の主な対象となる社会人他の進学者減少により苦戦している。 高校生を新たなターゲットとして、高校推薦・AO入試の導入を実施した。	明確に競合他校との差別化まで出来ているかとなると多少の疑問が残る。	学校基本調査資料 学校案内 募集要項

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括

特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）

<p>全体的に学生募集活動は適正に行われている。また、学校案内や募集要項を基に、その他に掲出する媒体（学校 HP、進学 WEB サイト等）での表現は統一しており、志望者等に誤解を招かないように伝えている。</p>	
--	--

7-36 就職実績、資格取得実績、卒業生の活躍の教育成果は、学生募集に貢献したか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
7-36-5 就職実績、資格取得実績、卒業生の活躍の教育成果は、学生募集に貢献したか	4	病院、施設への就職率も高く、ほぼ毎年 100%。また理学療法士の国家試験合格率も 2 年連続 100%を達成し、例年合格者を学校案内で紹介している為、卒業生の活躍が学生募集に貢献していると言える。	入学者のアンケートの結果により、入学の動機として「就職実績」・「資格取得実績」「卒業生の活躍」が上位を占めている。	国家試験合格実績では全員合格とは至っておらず、学生個々により適合した国家試験学習サポート対策の必要性がある。	進路状況のまとめ 入学者アンケート
7-36-6 卒業生の活躍の教育成果が学生募集に貢献したかどうか正しく認識する根拠を持っているか	4	入試・入学説明会、個別相談の参加者が、本校を知ったきっかけに、卒業生の紹介が多い。	7-36-5 のイ （「卒業生の活躍」が入学の動機として上位に位置している）		入学者アンケート 卒業生アンケート調査

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
創立 19 年の歴史も有り、多数の卒業生が業界で活躍している様子を学校案内等に掲載しており、志望者にとっては大きく学生募集に貢献していると思われる。	

7-37 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
7-37-7 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	5	学生募集要項に明記した入学選考方法により実施している。各入試選考後に入試判定会議により合否を決定している。	合格者は勿論のこと不合格者からも合否判定に対する疑問の声は聞いていない。面接試験の公平性を担保するために、事前に質問項目などの統一性を図っている。		学生募集要項 入試判定資料
7-37-8 入学選考に関する情報とその推移を学科ごとに正確に把握しているか	5	経年に於いて、学科毎に受験者の判定結果（合格・不合格数、及び判定記録）を残して管理している。	過去5年間の判定結果は事務課で資料及びデータで保存している。		入試判定資料

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
入学選考は学生募集要項の選考方法に準じて実施しており、特に受験生から不満の声を聞いていない。	

7-38 学納金は妥当なものとなっているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
7-38-9 学納金は、教育内容、学生および保護者の負担感等を考慮し、妥当なものとなっているか	4	学納金・特待生・奨学金制度については、社会情勢を踏まえて毎年検討を重ね、必要に応じて変更を行っている。	同分野の学校とも年間学費額にはあまり差異が出ていない。		学生募集要項
7-38-10 学納金に関する情報とその推移を学科ごとに正確に把握しているか	4	経年に於いて、学納金の情報は学生募集要項にて詳細に明記しており、推移は過年度分を見れば分かる。	保存期間の過去5年間の学生募集要項は事務課で保存している。		学生募集要項

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
同分野他校とも年間学費額にはあまり差異がなく、学納金はここ数年変動していない。	

基準 8 財務

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>中長期的に財務基盤は安定しており、その主要となる財務数値は正確に把握出来ているが、今後も更なる安定を目指して、教育研究経費や管理経費両面に於いて、なお一層の経費節減の努力が必要である。次に、年度予算は目的、目標に照らし有効かつ妥当なものとなっており、概ね予算書に従って科目毎に適正かつ計画的に執行しているが、一部の科目に於いて予算通りとならない場合は、補正予算を組み当該年度内で完了するようにしている。また、財務の会計監査は、私学振興助成法に基づく公認会計士による監査（決算監査・月次監査）、及び私立学校法に基づく監事監査（決算監査）を毎年適切に実施しており、会計監査を受ける側・実施する側の責任体制、監査の実施スケジュールも妥当なものとなっている。現在は、財務情報の公開に対して、「財務情報の公開規程」に基づき公開するに当たっての体制等を整備しており、方法、考え方を明示している。また、同一学校法人の設置校である大阪保健医療大学（OHSU）の HP 上（Web サイト）でも資金収支計算書、事業活動収支計算書及び貸借対照表の大科目、監事の監査報告書、事業報告書及び経年比較表等関連資料も追加し公開している。</p> <p>尚、平成 27 年予算からは、新学校法人会計基準に基づき、作成している。</p>	

8-39 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
8-39-1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえる。	長期の負債もなく、比較的安定的に財務運営を行うことが出来ている。	今後も設置校 3 校の安定した学生数確保及び諸経費を節減すべく、3 ケ年計画を立案し、継続的改善に取り組む。	中期計画（3 ケ年計画） 資金収支計算書 事業活動収支計算書
8-39-2 主要な財務数値に関する情報とその推移を正確に把握しているか	5	主要な財務数値に関する情報とその推移を正確に把握している。	最近数年（5 年以上）の収支データ（収支計算書）は身近に有り、その推移を正確に把握できている。	特になし	過去 5 ヶ年の収支計算書（財産目録含む）

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
中長期的に財務基盤は安定しており、その主要となる財務数値は正確に把握出来ている。設置校 3 校の 3 ケ年計画を確実に実施にうつすことにより、継続して良好な学園全体の決算数値を維持していきたい。	

8-40 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
8-40-3 年度予算、中期計画は、目的・目標に照らして、有効かつ妥当なものとなっているか	5	年度予算は、目的、目標に照らし、有効かつ妥当なものとなっていると言える。	当年度の執行予定、及び過去2～3年の科目別執行状況を参考にしており、適正かつ妥当な予算となっている。	特になし	過去5ヵ年の収支計算書 予算書
8-40-4 予算は計画に従って妥当に執行されているか	4	概ね予算に従って、妥当に執行されている。	予算書に従って、科目毎に適正かつ計画的に執行している。	3校共に除中退率は改善傾向にあるが、今後も除中退対策に力を入れ、予算どおりの収入を確保したい。	過去5ヵ年の収支計算書 予算書 中期計画（3ヶ年計画）

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
年度予算は、目的、目標に照らし有効かつ妥当なものとなっており、概ね予算書に従って、科目毎に適正かつ計画的に執行している。3校共に除中退率は改善傾向にあるが、今後も除中退対策に力を入れ、予算どおりの収入を確保したい。なお、一部に於いて予算通りとならない場合は、補正予算を組み当該年度内で完了している。	

8-41 財務について会計監査が適正におこなわれているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
8-41-5 財務について会計監査が適正におこなわれているか	5	毎年、財務について会計監査が適正に行われている。	私学振興助成法に基づく公認会計士による監査（決算監査・月次監査）、及び私立学校法に基づく監事監査（決算監査）を毎年適切に実施している。	特になし	監査スケジュール 公認会計士及び監事の監査意見書
8-41-6 会計監査を受ける側・実施する側の責任体制、監査の実施スケジュールは妥当なものか	5	会計監査を受ける側・実施する側の責任体制、監査の実施スケジュールは妥当なものとなっている。	毎年、法人室が責任部署として、監査スケジュールを公認会計士及び監事と打合せの上、適切に定めている。	特になし	監査スケジュール

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
財務の会計監査は、私学振興助成法に基づく公認会計士による監査（決算監査・月次監査）及び私立学校法に基づく監事監査（決算監査）を毎年適切に実施しており、会計監査を受ける側・実施する側の責任体制、監査の実施スケジュールも妥当なものとなっている。また、できる限り公認会計士と学園監事の意見交換ができる場の設定も行っている。	

8-42 財務情報公開の体制整備はできているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
8-42-7 私立学校法における財務情報公開の体制整備はできているか	5	私立学校法における財務情報公開の体制整備はできている。	財務情報の公開に対して、「財務情報の公開規程」に基づき、公開するに当たっての体制等を整備している。	特になし	財務情報の公開規程 資金収支計算書 事業活動収支計算書 貸借対照表 事業報告書
8-42-8 私立学校法における財務情報公開の形式は考えられているか	5	私立学校法における財務情報公開の形式は考えられている。	財務情報の公開に対して、「財務情報の公開規程」に公開するに当たっての方法、考え方を明示している。	特になし	財務情報の公開規程 資金収支計算書 事業活動収支計算書 貸借対照表 事業報告書

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
財務情報の公開に対して、「財務情報の公開規程」に基づき公開するに当たっての体制等を整備しており、方法、考え方を明示している。また、同一学校法人の設置校である大阪保健医療大学（OHSU）のHP上（Web サイト）でも公開している。 経年比較等関連資料も追加し、公開している	

基準 9 法令等の遵守

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>法令や設置基準等の遵守と適正な運営については、専修学校設置基準、各種学校規程、その他の関係法令のほか大阪府私立専修学校・各種学校設置認可等に関する審査基準による認可を受けており、学則等に変更が生じた場合は、その都度、届出を行っている事からも適正な学校運営を行っていると言える。しかしながら、学生に対しては、入学、進級時のガイダンスに於いて学則の抜粋を記載した学生便覧での啓発活動に留まっており、また、教職員に対しても、年1回程度の教職員研修では啓発活動として徹底しているとは言い難い。次に、個人情報に関する保護と対策については、学園としてPマークの認証を平成18年12月～平成24年12月の期間取得していたので、その個人情報保護に関するマニュアルや各種規定の下に管理体制を整えている。さらに、平成29年5月30日より改正個人情報保護法が全面施行されたことを踏まえ、全教職員対象に個人情報保護に関する研修会を実施しており、組織的に共通理解を深めている。</p> <p>なお、教職員には定期的に研修を実施し、学生にはCMを通じて日頃より啓蒙活動（特に、外部実習前には研修を実施）を行っている。</p>	

9-43 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
9-43-1 法令や専修学校設置基準等が遵守され、適正な運営がなされているか	5	広く社会の信頼を得るべく法令や専門学校設置基準を遵守し、適正な学校運営を行っている。	専修学校設置基準、各種学校規程、その他の関係法令のほか大阪府私立専修学校・各種学校設置認可等に関する審査基準による審査の上、認可を受けた学校である。また、学則等に変更が生じた場合は、その都度、適正に届出を行っている。	特になし	学校設置認可書 学則変更届
9-43-2 法令や専修学校設置基準等の遵守に関して、教職員・学生等に対する啓発活動を実施しているか	3	教職員・学生等に対して、ガイダンス、教職員研修で一定の啓発活動は実施している。 学校関係者評価会議を実施し、外部の視点から検証を実施している。	学生に対しては、入学、進級時のガイダンスで学則抜粋を記載した学生便覧に基づき啓発活動を実施している。又教職員に対しては、年1度の教職員研修で啓発活動を行っている。	法令や専修学校設置基準等の遵守に関する適切な啓発活動とは言えないので検討の必要がある。	学生便覧 教職員研修資料 学校関係者評価会議議事録

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
専修学校設置基準、各種学校規程、その他の関係法令のほか大阪府私立専修学校・各種学校設置認可等に関する審査基準による認可を受けており、学則等に変更が生じた場合は、その都度、届出を行っている事からも適正な学校運営を行っていると言える。しかしながら、教職員や学生等に対する法令や専修学校設置基準等の遵守の啓発活動は十分とは言えない。	

9-44 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
9-44-3 志願者、学生や卒業生及び教職員等学校が保有する個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	5	福田学園として、平成18年12月～平成24年12月までの期間でPマークの認証を取得していたので、志願者、学生や卒業生及び教職員等学校が保有する個人情報に関し、その保護のための対策をとっている。	個人情報保護のためのマニュアル、各種規定を制定すると共に、学生、教職員全員から個人情報収集同意書（教職員については秘密保持誓約書も）を取っている。	特になし	個人情報保護マニュアル 各種規程 個人情報収集同意書 秘密保持誓約書
9-44-4 個人情報に関して、教職員・学生等に対する啓発活動を実施しているか	4	福田学園として、平成18年12月～平成24年12月までの期間でPマークの認証を取得していたので、個人情報に関して、教職員・学生等に対する啓発活動を実施している。	教職員研修時に個人情報保護研修を行っている。また、学生に対しても、入学志願書、学生便覧等で啓発を行っている。	一部の学生の中には、個人情報保護に対する認識不足の者がいる事は否めない。	研修資料 学生便覧 入学志願書

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
平成18年12月～平成24年12月の期間でPマークの認証を取得したい事で、そのマニュアルや各種規定に基づき個人情報保護の管理体制を整えている為に問題はない。また、教職員には研修、学生には学生便覧等で啓蒙活動を行っている。以上の事から個人情報保護の対策は取られていると判断出来る。	